

令和4年9月30日

保護者様

横浜市立幸ヶ谷小学校

校長 本庄 則子

全国学力・学習状況調査結果から見える 幸ヶ谷小学校の子ども

4月に、6年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。本校の調査結果を踏まえ、今後の取組を以下のようにまとめました。実施学年は6年生のみですが、調査によって見えてきた特徴は、本校における全学年を通じた特徴とも関連していると考えています。なお、今回の調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。保護者並びに地域の皆様には、本調査の趣旨をご理解いただき、ご一読いただければ幸いです。

【生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果より】

- ・国語の勉強が好きと答えています。(本校 65.8% 全国 59.8%)
- ・算数の勉強が好きと答えています。(本校 65.9% 全国 62.5%)
- ・国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり文章どうしの関係を考えたりしながら読んでいます。(本校 78.8% 全国 71.4%)



- ・「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると答えています。(本校 86.5% 全国 72.7%)
- ・地域や社会をよくするために何をすべきと考えることがよくあります。(本校 59.5% 全国 51.3%)
- ・学校の授業で、パソコン、タブレットなどの ICT 機器を使う機会が多いと答えています。

(週3回以上 本校 87.4% 全国 58.2%)

<その他の実態>

- 朝食を毎日食べている児童が多い。(本校 96.9% 全国 94.4%)
- 人の役に立つ人間になりたいと思っている児童が多い。(本校 82.5% 全国 75.1%)
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる児童が多い。(本校 86.5% 全国 79.4%)
- ◆自分にはよいところがあると思っている児童が少ない。(本校 78.5% 全国 79.3%)

○本校の重点取組として、ESD(※)の視点をもった学習に取り組んでいるため、地域や社会をよくするために何をすべきか考えていたり、自分で学習の計画を立てたりする児童が多いと考えられます。今後も体験的・問題解決的な学習をより一層進めていきます。(※持続可能な社会の担い手を育てる教育)

【問題別調査結果より】

◇よい状況と考えられる内容（全国の正答率を上回っているもの）

〈国語〉

- ◇言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える。
- ◇学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。

〈算数〉

- ◇二つの数の最小公倍数を求める。
- ◇百分率で表された割合を分数で表す。

〈理科〉

- ◇自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつことができる。
- ◇観察などで得た結果を、他者の気づきの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。



国語・算数・理科とも、多くの問題について、正答率が全国の平均を上回りました。身に付いた知識・技能を活用し、自分の考えをもち、説明する力がついていることを表していると考えられます。

◆ 指導・改善が必要と考えられる内容（全国の正答率を下回っているもの）

〈国語〉

- ◆互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる。（記述解答）

指導改善のポイント

- 議論や討論を通して、自分の考えをまとめたり、まとめた考えを伝えたりする力をつけるようにします。

〈算数〉

- ◆示された場面をとらえて、数量が変わっても割合は変わらないことが理解できる。

指導改善のポイント

- 具体物を使って考えやすくしたり、生活経験と関連付けて考えたりする力を育むように努めます。

〈理科〉

- ◆実験器具の名称（メスシリンダー）の名称や使い方を理解している。（記述解答）

指導改善のポイント

- コロナ禍において、感染症予防のために、実際に器具を扱った実験の機会が少なかったことが背景にあると考えられます。目的に応じた器具を選択し、一人ひとりの観察・実験の機会を保障するように努めます。